

2-3 SDGs 地域化拠点の取組



滋賀県立大学
THE UNIVERSITY OF SHIGA PREFECTURE



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

滋賀県立大学SDGs宣言

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

S 滋賀県立大学は「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに

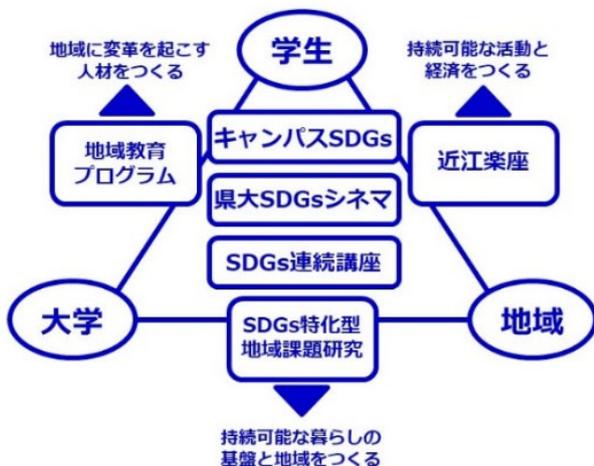
D 誰一人取り残さない持続可能な社会を目指し

G グローカルな思考と実践をもって

s 世界と地域の発展に貢献します

2-3-1 SDGs に関する取組の全体像

地域貢献大学のリーディングモデルを目指している本学は、平成30年6月に「滋賀県立大学SDGs宣言」を行った。地域共生センターは、これまでの大学の取組や資源を生かし、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に向け、共に学び、育ち、未来を切り拓く拠点となるための全学的取組の中心となる活動を行っている。



2-3-2 キャンパスSDGsびわ湖大会2020

- 1 開催日時 令和2年11月21日(土)
10時から17時
- 2 開催形式 YouTube Liveによるオンライン開催
- 3 大会テーマ 『「子ども・若者」と「大人」がともに歩むSDGsの10年』
- 4 視聴回数 延べ875回
- 5 事例報告等の参加校
小学校2校、中学校1校、高等学校1校、大学7校の教育機関および地域の活動団体等
- 6 プログラムの内容
(1)第I部 対談 コロナ禍からの学びをミライに生かす「あつまれ!がくせいの森」
ウィズコロナ時代に対応した新しい生活や活動について、大学生と滋賀県の三日月大造知事が意見交換を行った。

○登壇者

名前	所属	活動内容等
幸永幹真さん	滋賀県立大学 大学院	コロナのために困窮する 学生の支援事業に関わる
正木美帆さん	滋賀県立大学	コロナ禍での学生のつな がりづくりのためオンラ インイベント主催
野口将太郎さん	滋賀県立大学	地元青年リーダーとして コロナ下で伝統行事やコ ミュニティ存続に取り組む
沖本 怜さん	滋賀大学	彦根市内で国際交流シエ アハウスを立ち上げ運営
佐藤彩香さん	立命館大学	Sustainable week 副実 行委員長として身近な課 題から SDGs に取り組む
李 衛琳さん	聖泉大学	留学生。ジェンダー平等 の実現に向け学びや活動 に取り組む
渡辺達也さん	京都産業大学	コロナ下で地元滋賀の暮 らしを見つめる動画を制 作・配信
三日月大造さん	滋賀県知事	
上田洋平	滋賀県立大学 講師	モデレーター

(2)第Ⅱ部 基調講演

一般社団法人シンク・ジ・アース理事 上田壮一氏
 モデレーター：滋賀県立大学特任准教授 森川稔

上田氏からは、持続可能な社会創生のために創造的な
 教育を実践する現場の先生と生徒を応援する「SDGs for
 School」の取組等を紹介しつつ、SDGs 達成に向けた今後
 の10年間の取組について講演頂いた。

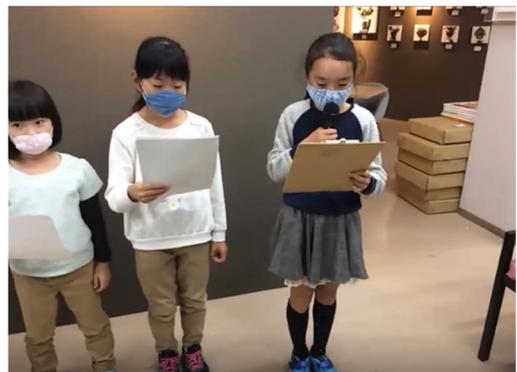


基調講演：上田壮一氏

(3)活動報告「子ども・若者」マイプロジェクト報告
 県内外の小学生から大学生が活動報告を行い、コメンテ
 ーターを交えて周囲がどのように支援していくかにつ
 いて考えた。

○事例発表の内容

団体名	活動内容	
ルシオール・キッズ・ クラブ	ホテルが住める環境づくり	
草津市立渋川小学校	「世界農業遺産学習」地元の農産物を 活用した石けんづくり	
多賀町立大滝小学校	地域の魅力を再発見「地域診断法×ふ るさとの歌づくり」	
「いなまち たしゅ う室」チーム	空き店舗を自分たちの居場所に「いな まち たしゅう室」	
滋賀県立大学	商店街の魅力を体感するイベント「大 津なかもち商店街お弁当ラリー」	
芝浦工業大学	びわ湖 SDGs スタディーツアープログ ラム	
環びわ湖大学・地域 コンソーシアム	SDGs の取組を大学生が発信する 「SHIGA SDGs Studies」	
コメ ンテ ー タ ー	上田壮一氏	(一社) シンク・ジ・アース理事
	高野 翔氏	福井県立大学地域経済研究所准教授
	木田桃子氏	(一社) 暮らし育て組代表理事
モデ レー ター	鵜飼修	滋賀県立大学准教授



発表者「ルシオール・キッズ・クラブ」

(4)関連イベント オンラインパネル展示

関連イベントとして実施したオンラインパネル展示には次の 29 団体が参加し、それぞれの活動内容をまとめたパネルを出展した。

○参加団体

近江米振興協会、滋賀県農村振興課、フードバンクひこね、NPO 法人 FootRoots、琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会、G-Readers Biwakko、彦根市立中央中学校、聖泉大学人間学部富川ゼミ・米原市役所、滋賀大学山本ゼミ、聖泉大学看護学部地域看護学ゼミナール、湖南市地域創生推進課地域エネルギー室、滋賀県立大学生活協同組合、高島市、「ポストコロナにおける滋賀県の姿を考える」ワーキンググループ、大津市企画調整課、土とつながる暮らし soil、びわ湖東北部地域連携協議会、滋賀県地球温暖化防止活動推進センター、マザーレイクフォーラム運営委員会・滋賀県琵琶湖保全再生課、にじいろとんぼアクティビティー、滋賀県立大学近江楽座「BAMBOO HOUSE PROJECT」、同「Taga-Town-Project」、同「フラワーエネルギー「なの・わり」」、同「子ども学習支援サポーターズ」、同「おとくらプロジェクト」、同「未来看護塾」、同「廃棄物バスターズ」、同「滋賀県大生き物研究会」、同「田の浦ファンクラブ学生サポートチーム」

2-3-3 教育、研究、地域への波及

1 地域教育プログラムでの SDGs

前記 2-2 に記載の地域教育プログラムにおいて持続可能な社会づくりを担う人材の育成に取り組んでいる。

特に SDGs に関しては、「地域デザイン D」におけるラジオ放送番組「ちかく de と〜くで SDGs」の企画・制作・実施で SDGs をテーマに取り上げ（前期 2-2-5 近江楽士（地域学）副専攻の項を参照）、「SDGs と滋賀のグローバルイノベーション〜近江の暮らしとなりわい〜」では、SDGs に親和性が高い滋賀の地の取組を事例にして持続可能な共生社会の実現への必要な知見、課題や実践のあり方について学んだ。

なお、学生主体の地域課題解決に貢献する活動「近江楽座」については、前記「2-2-7 近江楽座」の項を参照されたい。

○令和 2 年度「近江の暮らしとなりわい〜SDGs と滋賀のグローバルイノベーション」のゲスト講師

- 青山裕史さん（油藤商事(株)専務取締役）
- 川村美津子さん（NPO 法人つどい理事長）
- 戸田直弘さん（守山漁業協同組合：漁師）
- 堀彰男さん（せせらぎの郷須原代表：魚のゆりかご水田農家）
- 井上慎也さん（KUMINO 工房代表：社会事業家）
- 滋賀県立大学近江楽座（おとくらプロジェクト、あかりんちゅ、Taga-Town-Project、座・沖島、政所茶レン茶 “一”）の皆さん
- 芝浦工業大学 SDGs 学生委員会-綾いと-の皆さん
- 芝浦工業大学教授 中口毅博さん
- 滋賀県企画調整課、農政課、森林政策課、琵琶湖保全再生課の皆さん
- 風かおるさん（(有)ガイア・コミュニティ）
- 金正和さん（大阪経済法科大学）

2 SDGs 連続講座

（SDGs の視点を持って活躍する人材育成）

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、オンライン(ZOOM を使用)で SDGs に関する社会課題をテーマにした映画の上映会を開催した。

上映後は、映画のテーマに関連する活動を実践さ

ている方をゲスト講師として迎え、15 分程度の講演をしていただいた。さらに連続講座参加者を少人数にグループ分けし、お互いに映画や講演についての感想や気づきを共有し、今後取り組んでいきたいことなどの情報交換の時間を取った。

○ 上演作品、講師、関連する SDGs ゴール一覧

1	映画名	「都市を耕す エディブルシティ」
	講師	江口 亜維子さん（千葉大学大学院博士研究員）
	SDGs	2, 12, 13, 15, 17
2	映画名	「スマホの真実」
	講師	辻 博子さん（一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク事務局長）
	SDGs	12, 15, 16
3	映画名	「難民キャンプで暮らしてみたら」
	講師	関根 健次さん（ユナイテッドピープル株式会社 代表）
	SDGs	1, 10, 16, 17
4	映画名	「バベルの学校」
	講師	沖本 怜さん（国際交流シェアハウス 代表）
	SDGs	4, 17
5	映画名	「ポパティ・インク」
	講師	森 恵生さん（フードバンクひこね 代表）
	SDGs	1, 2, 3, 8, 9, 10, 12, 17



SDGs 連続講座オンラインの様子

3 SDGs 出前講座&落語

(1) 県内外の行政や教育機関、企業等からの要望を受けて、講演等を実施した。

○ SDGs 出前講座等の出講先

	時期	出講先	講座内容
1	R2.7.2	長浜北星高等学校	出前講座
2	R2.10.14	滋賀県企画調整課	出前講座
3	R2.11.11	滋賀県産業支援プラザ	出前講座
4	R2.11.12-13	彦根市立中央中学校	学習支援
5	R2.12.1	近畿環境パートナーシップオフィス	出前講座
6	R3.1.20	大津市立唐崎小学校	出前講座
7	R3.2.7	滋賀県男女共同参画センター	オンライン講座
8	R3.2.16	滋賀県信用保証協会	出前講座
9	R3.2.24	彦根市立東中学校	講話

(2) FD・SD 研修会

教職員が SDGs の取組の必要性を一層認識するとともに、SDGs の達成を意識して自らの研究や学生に対する教育活動を行うことを目的に、びわ湖東北部地域連携協議会の事業として、オンラインによる FD・SD 研修を企画し、開催した。

日時：令和 2 年 12 月 10 日（木）13 時～15 時

対象者：びわ湖東北部地域連携協議会参加団体（滋賀県立大学、滋賀大学、滋賀文教短期大学、長浜バイオ大学、聖泉大学、長浜市、彦根市、米原市、滋賀県、長浜商工会議所、彦根商工会議所）の教員・職員

申込者数：118 名（zoom による参加 60 名、YouTube による参加 82 名、配信会場での参加 12 名）

内容：第 1 部 天満家真念さん（滋賀県立大学地域共生センター森川稔特任准教授）の SDGs 落語「八坂長屋の SDGs」

SDGs を楽しく分かりやすく理解するための創作落語

第 2 部 SDG パートナーズ田瀬和夫さん、柴田美紀子さんによる講演「SDGs で変わるビジネスと教育」

大学や地方公共団体の教職員は、SDGs とどう向け合えばいいのか、自らの業務と社会課題との関りについていかに理解して自ら考えるのかのヒントを、企業の取組事例などを交えて提示した。

4 SDGs に関連付けた大学の知的資源・地域活動の発信

本学のすべての教員の研究内容、産学や地域連携活動を分かりやすく紹介する地域連携ガイドブックについて、令和 3 年 3 月に教員ごとに SDGs 目標と関連付けた形で取りまとめた 2021 年版を発刊した。



* 滋賀県立大学ホームページ「地域交流・生涯学習」
「滋賀県立大学地域連携ガイドブック」参照

また、本学産学連携センターが本学の研究シーズと地域社会のニーズが繋がるよう毎年発刊している「滋賀県立大学研究シーズ集」についても、令和 2 年 10 月に SDGs の視点に立った分かりやすい内容に改めて発刊された。



* 滋賀県立大学ホームページ「研究・産学連携」
「研究シーズ集」参照

5 滋賀県×滋賀県立大学×内閣府 地方創生 SDGs フォーラム

普段の生活からひも解く SDGs の視点を分かりやすく紹介し地方創生や SDGs をより身近に考えるきっかけ作りを目的に、令和2年11月20日（金）に「滋賀県×滋賀県立大学×内閣府 地方創生 SDGs フォーラム」を開催した。

フォーラムでは滋賀県の廣脇正機総合政策部長、内閣府地方創生推進事務局の北廣雅之参事官とともに、本学地域共生センター鶴飼准教授が出席し「SDGs 地域化拠点としての滋賀県立大学の取組」を講演し、パネルディスカッションにおいては、①地域課題の解決にあたって地域資源をどう捉えて解決するか、②コロナ禍において地方創生 SDGs をどう活用・推進するか、③地方創生 SDGs を上手く進めるためのポイントや課題、④地方創生 SDGs を進めるにあたって一人ひとりができることは何か、などについて議論した。

*イベントサイトにて講演資料、議事録公開

<https://www.gov-online.go.jp/tokusyuu/COVID-19/policy/chihou-sdgs.html>



出典：政府広報オンライン